

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年 3月 15日

事業所名 多機能型事業所リズム 保護者等数 41 回収数 34 割合 82 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分から ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	1	0			○本人の絵描きスペースもあり満足していると思います。	リズムの室内だけでなく、学習室まーべる、スイミングスクール、学童VI-VA、敷地内の公園で活動を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29	5	0			○以前に比べて職員も増えて個別で対応できていいと思います。 ・適切な数が分からない。 ・職員の数人が分からないため。 ・利用するたびに確認するわけではないので、分からない。	基準では、10名定員に対し児発管1名と指導員2名の配置となっております。リズムでは、よりよい支援のために人員を多く配置しています。年度初めに書面にて職員紹介をいたします。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	4	0		1		事業所の場所が2階であるため、階段に手すりを設置しております。歩行に支援が必要なお子様には必ず職員が同行し、安全に上り下りができるように留意しています。同じフロアにあるデイサービス側にエレベーターがあるので、そちらを利用することもあります。室内はスロープにし段差がないようにしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	33	1	0			・本人のペースで色々な事に参加できています。	保護者の方のフェイスシートや連絡ノート、担当者会議での話し合い、お子様との日々の会話の中でニーズを捉え、支援につなげられるように努めています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	33	1	0			○色々な活動プログラムがあり、子ども達が色々な経験ができるので良い。 ○毎回、楽しいゲームなどをやっているのが見られます。 ・プール以外での活動が何しているかあまり分からない。	様々な活動を通して、好きなこと得意なことが増えていけるようにプログラムを作成しています。また、色々な場所、人、物との出会いによって豊かな経験と情操を育めるようにイベントを企画しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか							今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため
7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	3	0		1	・今はどういった支援をしているのか分からない。	取り組みについて便りや連絡ノート、電話などでお知らせいたします。	

保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	2	0			<ul style="list-style-type: none"> ○利用の範囲の中でできている。 ○いつも連絡帳にリズムでの事を書いてくれているので安心です。 ○利用後の今日あった出来事を分かりやすく説明してもらっています。 ○常に連絡等ができ、職員との間も連携もとれていて安心できる。 ・保護者の時間の都合が合わなく話すチャンスがない。 	引き続き、連絡ノートや電話、LINE、送迎時の引き継ぎなどで情報共有ができるように努めてまいります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	12	0		1	<ul style="list-style-type: none"> ○利用の範囲の中で行われている。 ○何かあると電話で情報を伝えてもらい助かっています。 ○本人のできる新しい発見を伝えてもらっています。 ・保護者の時間の都合が合わなく話すチャンスがない。 	感染症予防に留意しながら、定期的に面談の機会を設け、保護者とリズムでお子様について情報共有し、協力できるように努めます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため						今年度は、感染症予防のため開催できませんでした。次年度は、感染予防に留意しながらの開催を計画しています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	5	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ○苦情を出したことがないので分かりません。 ○苦情が無い。 ○何かあったときはすぐ対応してくれるので助かっています。 	何かありましたらご気軽にご連絡ください。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1	0			<ul style="list-style-type: none"> ○LINEの活用の取入れは良かった。 ・LINEの返信が既読のみで無い時があるので、「確認しました！」や「OK」はいただきたいです。質問が返ってこないこともありました。 	LINEが上手く活用できるように、確認や返信をいたします。15時～17時半は、多くのお子様がお来所し活動をしているため確認ができないこともあります。どうぞご了承ください。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	2	0			<ul style="list-style-type: none"> ○確認をHPに関してはしてはいませんが、紙の広報は見えています。 ○2020年の職員紹介のアイデアはよかったです。顔と名前が覚えやすかったです。 ・HPの存在を知らない。 	今後も便り等で、取り組みの内容や情報の発信を行ってまいります。HPも是非ご覧ください。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	33	1	0				個人情報については、全ての職員がその取扱いに留意するようにしています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	9	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・把握していないため。 ・分からないため。 ・今年度はどこでも未体験の事態だったので、次年度はもっと充分になっていると思います。 	対応について保護者と共有できるようにマニュアルを配布いたします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	12	0			<ul style="list-style-type: none"> ・把握していないため。 ・分からないため。 	地震と火事を想定した避難訓練を年2回行っており、例年ですとリズムのお子様も参加していますが、今年度はコロナの影響もあり職員のみでの参加となりました。レク活動として「防災週間」を設定し、身を守る方法を一緒に学びました。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	29	5	0		<p>○週1回なのでたまにしるけど、帰ってくる「楽しかった」と話してくれます。</p> <p>○口では「行きたくない～」と言っていますが、本心は自分の居場所だと思っていて安心していると思います。</p> <p>○毎回、絵カード準備明日の予定をいやがる事なくスムーズに貼っています。</p> <p>・子どもが行ったり行かなかったり波があるので、どちらともいえません。</p> <p>・時々休みたがる。</p>	<p>お子様一人ひとりにとって“安心して楽しめる場所”であるよう、これからも職員一丸となって取り組んでまいります。</p>
	18	事業所の支援に満足しているか	33	1	0		<p>○本人の体力をいっぱい発散できています。</p> <p>○「楽しかった」と帰宅します。いつもありがとうございます。</p>	<p>お子様にとって必要な支援と様々な活動を提供できるように取り組んでまいります。たくさんのご意見ありがとうございます。</p>

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 多機能型事業所リズム

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			リズムの室内だけでなく、学習室・スイミングスクール・学童VI-VAなど敷地内の部屋を活用している。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			人員数が欠けることがないようにシフトを組んでいる。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>			事業所が2階にあるため、階段に手すりを設置している。安全に上り下りができるよう職員が同行している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			毎日のミーティング・ふりかえり、月に1回以上の拡大ミーティングなど職員同士が話し合う時間を確保し、業務を進めている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>			昨年度の評価を基に業務を改善した。保護者会や面談の機会を設けることができず、手紙だけでは十分に周知することが難しかった。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			ホームページのトップにリンクを貼り、閲覧しやすくしている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>				連携できる外部パートナーを探したい。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		<input type="radio"/>			事業所内で研修を月1~2回実施している。次年度は、外部講師による研修や部署(学童・デイサービス)との連携交流などさらに充実したものにする。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		<input type="radio"/>			感染症予防のために直接会って話を聞く機会を設けることが少なくなりましたが、書面や電話を使いアセスメントを行った。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>			標準化されたアセスメントツールを使っているが、よりよいものはないかと模索している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			週ごとに活動の責任者を決め、責任者が中心となってアイデアを出し合って決定するようにしている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			複数のプログラムを準備し、子どもたちが選択・決定できるようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		<input type="radio"/>			感染症予防のため外出が制限されてしまい、休日や長期休暇だからこそできるはずのプログラムを実施することができなかった。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		<input type="radio"/>			個別活動は、子どもたちが選択・決定できるようにしている。集団活動の魅力をもっと高める必要がある。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			毎日実施している。また、打ち合わせ内容を職員用ホワイトボードに書き残すことで、いつでも確認できるようにしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			毎日実施している。また、日報として書き残すことで、いつでも確認できるようにしている。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			複数の職員が記録することで、支援の検証・改善につながっている。		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			担当者が会議に参加し、様々な意見や思いを汲み取り、計画を作成している。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>			子どもたちが選択・決定できるように複数のプログラムを準備している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	<input type="radio"/>			担当者が会議に参加し、様々な意見 や思いを汲み取り、計画を作成してい る。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている		<input type="radio"/>			一部の学校からは直接行事や下校時 刻の情報をもらうことができてい る。しかし、保護者を通して、送迎時間 の確認を行っている子がほとんどである。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整 えている		<input type="radio"/>			保護者を通して、情報を受け取って いる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている			<input type="radio"/>		就学前に利用していた施設について、 情報共有することは、ほぼない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している		<input type="radio"/>			保護者が情報の提供を許可し、次の 事業所等が情報提供を求めてきた場 合は実施する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支 援センター等の専門機関と連携し、助言 や研修を受けている			<input type="radio"/>		研修の機会を検討している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会が ある		<input type="radio"/>		交流会を予定していたが、感染拡大 防止のため中止とした。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参 加している			<input type="radio"/>		機会があれば、参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っている	<input type="radio"/>			連絡ノートや電話などを活用し、利 用時の様子や活動内容を知らせて いる。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている			<input type="radio"/>		感染拡大防止のため、実施をしな かった。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			書面を読み上げながら、説明を行 っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っている		<input type="radio"/>			連絡ノートや電話を活用し支援を している。個人面談の機会を設け、 より協力できるようにしたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同 士の連携を支援している			<input type="radio"/>		感染拡大防止のため、実施をしな かった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子 どもや保護者に周知し、苦情があ った場合に迅速かつ適切に対応して いる	<input type="radio"/>			子どもや保護者から訴えがあった 場合には、事実をすぐに確認し、 迅速かつ適切に対応するよう努 めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報を 子どもや保護者に対して発信して いる	<input type="radio"/>			毎月、便りを発行している。必要 に応じてLINEも活用してお知らせ している。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			鍵の閉まる書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のための配慮 をしている	<input type="radio"/>			思いを汲み取ることが出来るよ うに、様々な方法を用いているよ うにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する 等地域に関わった事業運営を図って いる			<input type="radio"/>		感染拡大防止のため、実施をしな かった。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		<input type="radio"/>			策定してあるが、十分に保護者へ周知ができていなかった。保護者用として配布する予定である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input type="radio"/>			年2回行っている。津波や不審者など様々な事態を想定し、訓練を工夫したい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			月に1回以上の拡大ミーティングを設け、子どもとの関わりについてふりかえりを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		<input type="radio"/>			行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>			食事やおやつなど、子どもに提供する前に確認をしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			記録を残し、それを基に事例集を作成し、共有している。	